



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリー：変化をもたらす」 *Rotary: Making a Difference*

2017-18年度 RI会長／イアン H.S.ライズリー RI.D2590ガバナー／湯川 孝則 横浜旭RC会長／滝澤 亮

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階/〒241-0821
TEL.045-465-6702/FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(榎岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



旭区民まつりにて熊本みかん販売



熊本自転車支援



ガールスカウトとクリーン作戦

2018年6月6日 第2338回例会 VOL. 49 No. 43

■司 会 副SAA 北澤 正浩

■開会点鐘 会 長 滝澤 亮

■斉 唱 君が代、奉仕の理想

■出席報告

会員数	31名	本日の出席数	23名
本日の出席率	88.46%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

宋、二宮（麻）、後藤

■他クラブ出席者

増田（横浜田園 RC）

■ビジター

鶴岡 武様（第5G ガバナー補佐）

■6月誕生記念祝



北澤 正浩会員 6.12

■会長報告

皆様こんにちは。今年度もあと1ヶ月を残すばかりとなりました。あと4回で次年度で

す。最終例会まで淡々と一回一回進めていくだけでございます。本日は新川委員長による青少年奉仕フォーラムです。次回は米山奨学生の沈さんによる卓話、次が会長幹事の一年を振り返っての卓話、そして最終例会が夜間移動例会となります。

■幹事報告

今期も終了に近づいてまいりました。各奉仕委員長、役員の方は7月に入りましたらクラブ活動報告書の提出をお願い致します。

又、本日午後6時半より新旧合同理事や区委員会を開催いたします。新旧理事役員の方々は出席お願い致します。

■鶴岡ガバナー補佐退任の挨拶

鶴岡 武（横浜緑 RC）

ガバナー補佐としての任期が終わろうとしています。地区方針「共に語ろうロータリー」を念頭にガバナー主張の7項目実施に努力して参りました。先ず7月からのガバナー訪問に備えて、クラブ協議会を各クラブと実施、10月で、当グループガバナー訪問を無事終了しました。



ガバナー補佐個人としても各種委員会に出席、勉強になりました。上智大学での戦略計画、

お台場でのロータリー研究会でも学ばせていただきました。11月には皆様の協力により素晴らしい地区大会が挙行され充実した前半でした。年明けのマラソン大会に続いて自クラブでインターミーティングを担当、皆様の援助で実現出来ました。4月には東日本大震災復興支援、岩沼への植樹に参加し、協力頂きましたクラブの皆様には感謝致します。

尚、次期から第5グループ、第7グループを吸収し、北・南名をつけ、2名のガバナー補佐が今期と同じ作業を致しますが、次々年度は一人のガバナー補佐の計画でございます。

第5グループとして会長幹事会は6回実施、お互いの意思疎通を図りましたが、不十分だったかもしれません。ガバナー補佐として不完全の点はロータリーの友情に免じてご容赦下さい。

皆様のご支援で年度を終えようとしています事、心から感謝申し上げます。

■細則改正について 佐藤 真吾

会費については、細則第6条第2節に定められており、その変更は細則改正事項にあたるため、定款第20条および細則第12条の規定に基づき、進めさせていただきます。

・定足数確認

会員総数 31名、出席者 23名

会員総数の3分の1の定足数を満たしていますので、改正に対する条件は満たしています。

・改正案の説明

現在の年会費は26万円と定められていますが、5/16に各会員に配布した会費変更についてのアンケートの結果、24万円とする回答が最も多かったため、次年度からの年会費は24万円とします。

・採決

採決（挙手）の結果、出席会員の3分の2の賛成があったものと認め、本改正案を採用し、細則を変更する事とします。

なお、本改正は、2018年7月1日より実施することとします。

■ニコニコBOX（会員敬称略）

鶴岡 武様（横浜緑RC・ガバナー補佐）／皆様のおかげをもちまして第5グループガバナー補佐を終えることができそうです。有難

うございました。

滝澤 亮／①新川さん、本日の青少年奉仕フォーラムよろしく申し上げます。②鶴岡ガバナー補佐、本日はご苦労様です。

田川 富男／各奉仕委員長へ。今期が終了致しましたら、クラブ活動報告書を提出願致します。

安藤 公一／①鶴岡ガバナー補佐ようこそお出で頂きました。②新川さん、青少年フォーラム宜しく申し上げます。③昨日第49回単独コンペを開催し、青木会員が初優勝を飾りました。おめでとうございます。太田会員のベスグロ、関口会員のドラコンもお見事でした。

北澤 正浩／①第5グループガバナー補佐鶴岡様、ようこそいらっしゃいました。②誕生日をありがとうございます。

佐藤 真吾／①鶴岡ガバナー補佐、一年間有り難うございました。②新川さん、青少年奉仕フォーラムよろしく申し上げます。

佐藤 利明／鶴岡ガバナー補佐ご苦労様です。

増田嘉一郎／鶴岡ガバナー補佐、ようこそ。一年間お疲れ様でした。これからもご指導よろしく申し上げます。

市川 慎二／①鶴岡ガバナー補佐、一年間ご指導ありがとうございました。②新川さん、本日の卓話宜しく申し上げます。

新川 尚／今日は青少年フォーラムです。皆様のご協力を宜しく申し上げます。

関口 友宏／昨日のゴルフコンペ、安藤さんお世話さまでした。青木さん、優勝おめでとうございます。

太田 勝典／安藤さん、昨日はゴルフ幹事、ご苦労様でした。

大川 伸一／①鶴岡ガバナー補佐様、おいでいただきまして有難うございます。②いよいよようっとおしい季節が始まりました。皆様、どうぞお気をつけ下さい。

青木 邦弘／苦節16年、ドライバーを買い日々練習を重ね、一人の力で昨日のコンペ優勝しました。

須藤 亘／①第5グループガバナー補佐鶴岡様、ようこそおいで下さいました。②梅雨入りですね！雨に負けずに頑張ります。



○ 青少年奉仕とは

・ 青少年奉仕は、ローターアクト、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。(ロータリー HP)

・ 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。(ロータリーの友)

○ インターアクト

インターアクトクラブでは、12～18歳の中学・高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員（通称「インターアクター」）との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超私の奉仕」を学び、行動力を身につけます。

1962年、米国で最初のクラブが設立された。日本においては、1963年6月27日に結成された宮城県の仙台育英学園高等学校（提唱、仙台東 RC）をもって嚆矢とする。日本第1号のこのクラブは、100余名の構成人員で当時、世界最多の会員数を擁していた。一日遅れて翌28日京都市立西京高等学校（当時：京都市立西京商業高等学校）で結成され、提唱は、京都西 RC であった。ロータリーは従来奉仕の理想を成年、しかもある程度成功した社会人

に浸透させるよう努力したが、しかしそれでは遅すぎるということから青少年にまで活動の範囲を広げた。

インターアクトクラブ数 20,372

インターアクター数 468,556

インターアクトクラブがある国の数 159

以下、「インターアクト方針声明」より抜粋

・ インターアクトは、1962年6月に、理事会で採択された国際ロータリーのプログラムである。

・ インターアクトプログラムは、国際ロータリーの活動から発展して創設されたものであり、それ自体が国際ロータリーの活動である。組織規定、組織の要件、標準手続を定め、執行する権利、およびインターアクトの名称およびロゴの保護と保存の権利は国際ロータリーが有する。

・ インターアクトクラブは、ロータリークラブの提唱の下、12歳から18歳までの青少年により構成される組織体である。その目的は、奉仕、国際理解、指導力育成に寄与する世界的な友好の精神の中で、相共に活動する機会を提供することである。

・ インターアクトクラブは、一つまたは複数のロータリークラブによって結成、提唱、監督され、ガバナーによって承認された後、国際ロータリーの承認と認定を経て設立される。クラブの存続は、提唱ロータリークラブの不断の後援と国際ロータリーによる継続的認定にかかっている。

第2590地区では、現在18のクラブと約550名のインターアクターが活躍しています。各クラブがそれぞれ活動する以外に地区の行事としてサマーミーティングや海外研修旅行などが行われています。

○ ローターアクト

やる気のある18～30歳の人たちが集まるローターアクトクラブでは、ローターアクト会員（通称「ローターアクター」）がリーダーシップや職業スキルを磨き、ロータリー会員など地元のリーダーと交わり、楽しみながらボランティア活動をしています。地元や世界の問題について考え、画期的な解決策を見出すなど、ローターアクターはグローバルに活

躍しています。

1960年代、「世界中の青少年が共に活動できるような組織をつくろう」という機運が高まり、1962年、国際ロータリーにより、まずインターアクトプログラムが宣言された。しかし、インターアクターは当時14～18歳の高校生の年代が対象で、卒業と同時に会員資格が失効するため、これを継続するものとして、1968年1月に、当時のルーサーH. ホッジス国際ロータリー会長により、「ロータリーアクト構想」が打ち出され、1968年、RI理事会は、初めてロータリーアクトクラブの発足を認証。世界最初のロータリーアクトクラブは、アメリカ合衆国ノースカロライナ州のノースシャーロットロータリークラブの提唱により、1968年3月13日に結成された、ノースシャーロットロータリーアクトクラブとなる。

日本最初のロータリーアクトクラブは、ノースシャーロットロータリーアクトクラブと同じ1968年に創立した埼玉県の国際商科大学ロータリーアクト（現川越ロータリーアクトクラブ）である。川越ロータリークラブの提唱で、6月1日に発足。創立会員12人でスタートした。ロータリーアクトクラブ数 10,904

ロータリーアクト数 250,792

ロータリーアクトクラブがある国の数 184

以下、「ロータリーアクト方針声明」より抜粋

- ・ロータリーアクトは、1968年に理事会で採択された国際ロータリーのプログラムである。
- ・ロータリーアクトプログラムは、国際ロータリーの活動から創設されたものであり、それ自体が国際ロータリーの活動である。組織規定、組織の要件、標準手続を定め、執行する権利、およびロータリーアクトの名称およびロゴの保存の権利は国際ロータリーが有する。
- ・ロータリーアクトクラブは、ロータリークラブ提唱の下、18歳から30歳までの青年により構成される組織体である。その目的は、青年が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を修得し、それぞれの地域社会における物質的あるいは社会的なニーズに取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間により良い信頼関係を推進する機会を提供することにある。

・ロータリーアクトクラブは、ロータリークラブによって結成、提唱、助言され、ガバナーによって承認された後、国際ロータリーの承認と認定を経て設立される。クラブは、他の方法では設立も維持もできず、提唱ロータリークラブの積極的な後援と国際ロータリーの継続的認定なくしては存続できない。

第2590地区では現在、6つのクラブと約80名のロータリーアクトが活躍しています。各クラブがそれぞれ活動する以外に地区ロータリーアクトが主催する行事として、全クラブ合同例会、アクトの日、地区大会の際に開催される青少年交歓会、年次大会等があります。その他に台湾ロータリーアクトとの国際交流も行われています。

○ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)

ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) は、年齢14～30歳の若者が集まり、リーダーシップスキルと人格を養いながら、ロータリーについて学ぶ集中研修プログラムです。RYLAは、セミナー、キャンプ、ワークショップなどの形式が多く、通常、期間は3～10日間で、ロータリアンによる主催の下、クラブ、地区、多地区合同のいずれかで行われます。地元のロータリークラブが参加者を推薦し、多くの場合、その参加費用を負担します。選ばれた若者たちは、RYLAでさまざまな事柄を学び、多くの人々と接し、地域社会で積極的に活動するリーダーと出会い、貴重な情報とキャリアのスキルを学びながら、自信を育んでいきます。

RYLAは、地元地域やその範囲を超えて活躍できる若き有望なリーダーを指導する機会です。そこでのロータリアンの役割は、職場や地域社会のリーダーとなる道を開くために若者たちを導くことです。一方、ロータリー地区にとっては、新たな活力とアイデアがもたらされ、社会奉仕プロジェクトへの支援が増えるとともに、将来のロータリアンを育成できるという恩恵があります。

1959年にオーストラリアのクイーンズランドで初めて実施されたRYLAは、ビクトリア王女の訪問を記念して地元青年たちによって行

われた祭行事でした。以来、RYLA は、青少年の可能性を信じるロータリアンによって続けられ、次世代のリーダーとなる青少年が、自己を発見し、スキルを身につける機会となったのです。1971年に国際ロータリーによって正式に採用されたこの活気あふれるプログラムは、現在、世界中のロータリークラブと地区によって実施されています。

ロータリー青少年指導者養成プログラムの目標は次の通りです。

- ①ロータリーが青少年を尊重し、かつ青少年に関心を抱いていることを明らかにすること。
- ②若者に実地訓練を体験させ、責任ある有能なボランティア青少年リーダーとなる方法を身に付けるよう激励、援助すること。
- ③青少年による青少年への絶えざる、力強い指導を奨励すること。
- ④青少年リーダーとして地域社会に尽くしている多数の青少年を公に表彰すること。

第 2590 地区では、3月に一泊で開催されています。

○ロータリー青少年交換

青少年交換は、15～19歳の青少年が母国以外の国を訪問したり、そこに留学したりする機会を提供するものである。関与している国の法令により許され、参加クラブと地区が同意した場合は、20歳以上の参加者が参加することもできる。青少年交換には、以下の2種類がある。

・長期交換プログラムは、学生に1学年度海外に留学する機会を提供する。

交換は1学年度とするが、学年度の直前あるいは直後の休暇期間の一部またはすべてを含めて延長することができる。学生は、受入国で学校に通学することが義務付けられる。学生は2家族以上の家庭でホームステイをしなければならない、連続して3つの家庭に滞在することが望ましい。

派遣学生の両親は、受入学生のホストファミリーとなる義務はないものとする。ただし、派遣学生の両親は、ホストファミリーとなることを申し出ることができるほか、適切なホストファミリーを探す際に援助を求められることがある。

派遣クラブと受入クラブは、学生1人につきロータリアンのカウンセラーをクラブから1名ずつ選ばなければならない。このカウンセラーは学生と定期的に連絡を取り、学生とクラブ、学生の両親または保護者、ホストファミリー、地域社会全体との連絡役を果たす。カウンセラーは、交換学生を受け入れるホストファミリーの一員から選ばれてはならず、肉体的、性的、精神的虐待を含め、交換中に生じる可能性のあるいかなる問題、あるいは懸念事項にも対処できるよう研修を受けなくてはならない。

受入クラブは、一切の教育費を提供し、適切な学業プログラムを手配し、オリエンテーション・プログラムを提供し、学生が受入先地域に溶け込めるよう連絡を絶やさないようにすべきである。受入クラブまたは地区は、関係者が定めた小遣いを学生に提供すべきである。毎月の小遣いは学校またはそれ以外の場所での食費を賄うのに十分な額とするものとする。

・短期交換プログラムは、学生に数週間程度の外国訪問の機会を提供する。

短期交換の期間は数日間から数週間までとさまざまである。学校の休校中に行われることが多く、学業プログラムを含まないことがある。短期交換は、受入国の1つの家庭にホームステイをするのが一般的だが、国際的な青少年キャンプまたはツアーとして実施することもできる。

すべての学生は地元で申請を行い、地元地域のロータリークラブの支援を受けなければならない。交換に参加する青少年の親または法的保護者は、健康保険、傷害保険、および責任保険を提供し、受入地区への往復旅費を負担するよう期待されている。

ホストファミリーは交換青少年に部屋と食事を提供し、受入地区は教育費の全額に加えて、長期交換の場合は、少額の小遣いも提供するよう期待されている。交換は派遣地区と受入地区の同意の下に組織され、相互に学生を交換し合うものであることが期待される。すべてのクラブ、地区、多地区合同青少年交換プログラムは、プログラム参加者をめぐる

肉体的、性的、精神的な虐待の申し立てを防止し、それに適切に対応するために、危機管理の取り組みを強化することが奨励されている。その上、クラブと地区が青少年交換活動を実施する前に、賠償保険加入に関する助言も含め、賠償責任について法律顧問に相談するよう強く奨励されている。ガバナーは、地区青少年交換役員または委員会を任命し、次期ガバナーをその委員会に含めるよう奨励されている。地区青少年交換役員または委員会は、それぞれの地区のガバナーの監督下に置かれる。

(ロータリー章典 41.070.)

1929年フランスのニースロータリークラブが最初の交換留学を行い、その後1939年にはアメリカ合衆国・南米間で開始され、1972年に国際ロータリー理事会で世界的な平和と理解を推進する価値ある国際的活動として正式に推奨された。

一般的に生徒は全く別の国・言語（英語圏同士など例外あり）を経験するために一年間留学する。またホストとなる家族はその一年間で通常2～3回変わり、生徒はそれぞれの場合において学校などその国・家族で当たり前での日常生活を過ごすことが求められている。

多数のロータリアンが、生徒の選出、出入国の調整、ホストファミリーなどとしてこのプログラムに関わっている。生徒にはそれぞれホストとスポンサーがあり、自国のロータリークラブとロータリー地区がスポンサー、受け入れ国のロータリークラブとロータリー地区がホストとなる。

ほとんどの地区に派遣・受け入れを行う担当者や担当委員会がある。また生徒を派遣したロータリークラブから交換で受け入れる生徒のホストファミリーやカウンセラーを募る。活動的な地区では交換学生の人数が10名を越えるが、そうでない地区では数名にとどまる。

このプログラムを修了した者は性別・国籍・年齢を問わず ROTEX メンバーとなり、現在このプログラムを通して海外から来日している学生（来日学生）や、次年度に各国へ派遣予定されている学生（派遣候補生）、現在派遣中の学生（派遣生）のケアを行う。

○新世代交換

新世代交換は、30歳までの大学生と若い職業人を対象とした短期の交換プログラムです。期間は2～3週間から6カ月まで。個人またはグループでの交換が可能です。必ずしも双方向の交換とは限りません。30歳までの大学生と職業人が申請できます。これには、現・元ローターアクター、元インターアクター、ロータリー青少年指導者養成プログラムの元参加者、青少年交換の元留学生も含まれます。

第2590地区では現在、長期の青少年交換が行われています。毎年8名の学生の受入、派遣がされていますが、今後人数の変更があるとおもわれます。この長期の交換は学校への就学や、危機管理、ホストファミリーの負担など、それなりにハードルが高く、地区の青少年交換委員会の負担、労力も相当なものがあります。

個人の意見ですが、短期交換の実施を提案したいとおもいます。

昨年の12月に南アフリカの学生を受入れ、今年の3月に私の娘を行かせましたが、この交換は地区の青少年交換委員会の理解が得られず、いわゆる裏口交換となってしまいました。しかし、実際にやってみて、長期の交換には無いメリットがあると感じました。まず、学校の長期休暇を利用した日程となるので、学校に通わせる必要がない。4週間前後の期間なので、ホストファミリーの負担が軽減される。交換が前提なので、ホストファミリー探しが必要ない。Club To Clubでの実施とすれば、地区委員会の負担はさほど増えない。ホストファミリーを経験した家庭が増えれば、長期交換のホストファミリー探しにもつながるのでは？など、実施しない理由がないくらいと思えます。実際、地区委員会に掛け合った時も、的外れな回答しかありませんでした。青少年交換はそもそもロータリアンの子ども同士の交換旅行から始まっているので、あまり構えずに始めてみるのが良いのではないかとおもいます。

■次週の卓話

滝澤会長、田川幹事「この一年を振り返って」
週報担当 柳沢 哲也

■ My Rotary アカウント登録方法



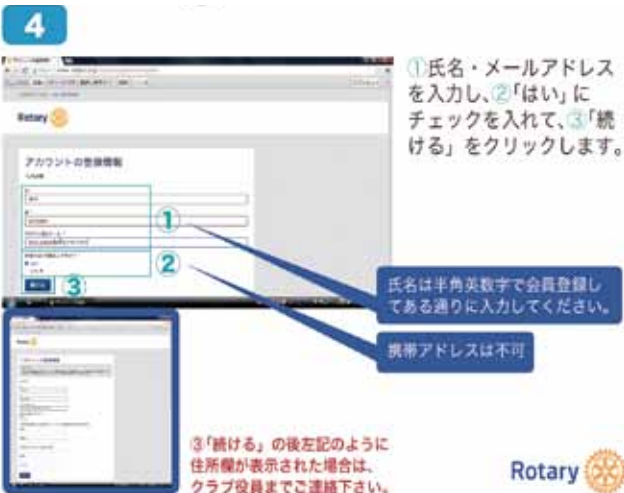
My Rotary をクリック



「ログインする/アカウント登録」をクリックします。



「アカウントを作成」をクリックします。



左記の画面が表示されたら「国際ロータリー」から登録したメールアドレスにメールが届きます。



登録したメールアドレスの受信箱を開き、届いたメールをクリックします。

受信箱の一例です。



「ロータリーウェブサイト：登録完了まであと少しです」というメールが届くので、文中の「アカウントを有効にする」をクリックします。



①ご希望のパスワードを設定し、②「セキュリティ保護用の質問」を一覧から選び、「答え」(4文字以上)を入力します。次に③「CREATE ACCOUNT」を一回だけクリックします(ダブルクリックすると2回登録されます)。

パスワードは英数字8文字以上で、大文字1つ(大文字入力の際は キーを押しながら)、小文字1つ、数字1つ以上を含んで設定して下さい。メールアドレスと類似したパスワードは設定できません。



①「はい」と②「REMEMBER ME」にチェックを入れて、③「CONTINUE / SIGN IN」をクリックします。これでアカウントの登録完了です。

2018年6月5日(火)平塚富士見CC平塚コースIN 8:56スタート

1)成績 IN OUT クロス HCP ネット 順位賞 DC NP BG

優勝	青木 邦弘		48	48	96	22.8	73.2	優勝			
準優勝	秋山 俊則	G	45	42	87	13.2	73.8	準優勝	1		
3位	千葉 和裕		44	42	86	12.0	74.0	3位		2	
4位	碓井 公夫	G	45	42	87	12.0	75.0				
5位	安藤 公一		44	47	91	15.6	75.4				
6位	倉本 宏昭		52	46	98	21.6	76.4				
7位	太田 勝典		42	44	86	8.4	77.6	7位		1	1
8位	内田 敏		50	59	109	31.2	77.8			1	
9位	後藤 英則		56	63	119	39.6	79.4				
10位	関口 友宏		53	54	107	27.6	79.4	BB	1		
11位	桜田 裕子		53	64	117	32.4	84.6				
			48.4	50.1	98.5	21.5	77.0				

2)収支報告:詳細はシート名「予算・決算」をご覧ください

収入		支出	
会費	¥77,000	賞金	¥42,000
前回繰越	¥6,690	パーティー	¥24,040
	¥83,690		¥66,040
		次期繰越	¥17,650

3)幹事雑感

初夏の爽やかな風の中、富士山も顔をだす晴天の中11名の精鋭がスタート

旭OGの桜田さん、OBの千葉さん、後藤さん友人の二方を迎えての第49回大会となりました。

今回本人も予想していない優勝を勝ち取ったのは青木さん。初優勝。おめでとうございます。

次に僅差でゲストの秋山さん、3位に実力者の千葉さん。

特筆すべきは高齢者の頑張りです。まずは、DCの関口さん、BG、NPの太田さん、NPの内田さん。

若い者は何をしているんだという叱咤激励をゴルフを通して頂いたと思っております。

馬券は3-5でしたが、優勝者・準優勝者共に謙虚でご自分の枠を買っていなかったため、次回にキャリーオーバーとさせて頂きました。

組合せは以下の通り

第1組 関口、太田、倉本、千葉、

第2組 内田、桜田、安藤

第3組 青木、後藤、碓井、秋山

3時頃にホールアウトし、3時半過ぎより表彰式パーティー、お互いの健闘を称え合いながら4時過ぎにはお開きとなりました。参加頂いた皆様、お疲れ様でした。

ゴルフ場をご手配頂いた千葉さんのお蔭でプレー代が一人当たりかなり安くなりました。

ここに改めて感謝申し上げます。

次のゴルフはAKS会秋大会です。2018年9月27日(木)レイクウッド西コース9:03から5組を

予約致しました。また、第50回旭RC単独コンペは12月第一週火曜日を予定しています。

今回ご参加頂けなかった方々、次回は是非ご参加ください。

気の置けない仲間達とのゴルフは、スコア関係なく楽しいものです。

今回もとても楽しくラウンドできました。次回は更に楽しくやりましょう。

今後共宜しくお願い致します。

ゴルフ幹事

安藤公一